

あけまして
おめでとう
ございます



ジェイシス税理士法人

〒543-0001
大阪市天王寺区上本町
8-9-23 JKPLACEビル2F
TEL 06 (6770) 1801
FAX 06 (6770) 1811
<http://www.jcss-tax.com/>

1月

(睦月) JANUARY

1日・元日 8日・成人の日

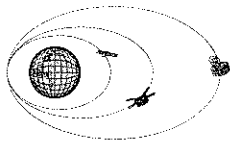
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

ワンポイント 同一生計配偶者

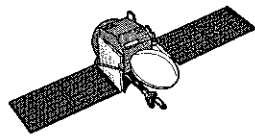
平成29年度税制改正で配偶者控除が見直され、「控除対象配偶者」(納税者と生計を一にする配偶者で合計所得金額が38万円以下)が、30年分以後の所得税から「同一生計配偶者」に名称変更するとともに、同一生計配偶者でも納税者の合計所得金額が1千万円超の場合は、配偶者控除の適用ができなくなりました。

1月の税務と労務

- 国 税 / 給与所得者の扶養控除等申告書の提出
本年最初の給与支払日の前日
- 国 税 / 報酬、料金、地代、家賃等の支払調書の提出
1月31日
- 国 税 / 源泉徴収票の交付、提出
1月31日
- 国 税 / 12月分源泉所得税の納付
1月10日
(納期の特例を受けている事業所の7~12月分は1月22日)
- 国 税 / 11月決算法人の確定申告
(法人税・消費税等)
1月31日
- 国 税 / 5月決算法人の中間申告
1月31日
- 国 税 / 2月、5月、8月決算法人の消費税の中間申告
(年3回の場合)
1月31日
- 地方税 / 固定資産税の償却資産に関する申告
1月31日
- 地方税 / 給与支払報告書の提出
1月31日
- 労 務 / 労働保険料の納付(第3期分)
1月31日
(労働保険事務組合委託の場合2月14日まで)



スペースデブリ



宇宙開発の歴史と スペースデブリ

世界の宇宙開発の歴史は古く、1926年にアメリカで液体燃料ロケットの打ち上げが成功したことが世界初とされています。1957年には旧ソ連が世界初の人工衛星「スプートニク」を打ち上げ、その後はアメリカと旧ソ連をはじめ、各国が競い合って人工衛星を開発し、何千回と打ち上げられています。昨年7月には、堀江貴文氏が出資者となっているインターステラテクノロジズ(株)によって小型ロケットが打ち上げられたことも注目されました。

打ち上げられた人工衛星やロケットは、現在も地球周回軌道を回っています。中には爆発して破片などに形を変えたものや、多段ロケットなどから切り離された部品も数多くあります。これらのいわゆる宇宙ゴミを「スペースデブリ」と呼んでいます。

人工衛星の回収

打ち上げられた人工衛星は、回収できないのでしょうか。

人工衛星が使えなくなるのは、①打ち上げ途中で軌道に到達できないとき、②打ち上げ途中で爆発したとき、③予定した軌道に乗れず当初の目的として衛星を利用できないとき、④予定

通りの軌道に乗ったものの内部の機械の破損や衛星の寿命で利用できなくなったとき、の4つに大別されます。このうち①の場合は、人工衛星は地球に落ちて完全に壊れてしまいます。②も回収はほとんど不可能です。

③と④については衛星を回収して再利用できる可能性があります。しかし衛星は大気圏に再突入して地上で回収できるように作られていません。再突入できるような構造にするとより重い衛星になり、製作費や打ち上げ費用が高額になってしまいます。また、スペースシャトルのようなものに衛星を積んで地球に帰ってくる方法も相当な費用がかかります。このような理由から、衛星の回収・再利用はほとんど行われていませんでした。

スペースデブリの危険性

多くの人工衛星が打ち上げられたものの、そのほとんどが回収されていないことで、スペースデブリの数は増加の一途をたどっています。地球の周りには、確認されているだけで約2万個の物体が軌道上を周回しています。レーダーではとらえられない数cm～数mmのものを含めると1億個を超えられているといわれています。

スペースデブリは、地球の周りを秒速7km以上のスピードで飛んでいます。も

し10g程度のスペースデブリが衝突したとすると、その衝撃は乗用車が時速120kmで衝突する威力に匹敵します。国際宇宙ステーション(ISS)などは、スペースデブリがぶつかっても貫通しない特殊なバンパーを備えたり、10cm以上のスペースデブリは軌道を把握してぶつかる前にISSの位置をずらしてスペースデブリを避けたりといった対策を採っています。

デブリの除去

ISSのように制御できるものは、スペースデブリの衝突をある程度は避けることができます。しかしスペースデブリ同士の衝突を避けることは、できません。スペースデブリ同士が衝突することで、新たに膨大な数のスペースデブリが発生することになります。各国の研究機関では、スペースデブリの回収や除去方法についての研究を進めていますが、成功例は報告されていません。

そのような中、株式会社アストロスケールが、微小なスペースデブリの実態把握を目的とした観測衛星「IDEA OSG1」とスペースデブリの除去を目的とした除去衛星「ELSA」の開発に取り組んでいます。これは世界で唯一、民間企業がスペースデブリ除去ビジネスに挑んでいる事例です。

VPDとは

ワクチンで防げる病気のことを「VPD」といいます。

- ・Vaccine=ワクチン
- ・Preventable=防げる
- ・Diseases=病気

の頭文字を取った言葉で、専門家の間ではよく使われていますが、一般的にはあまり知られていないようです。VPDには風しんや水痘(みずぼうそう)、日本脳炎など、子どものうちに予防接種を受けたことがある病気も多くあります。

ワクチン

例えば、子どもが風疹に自然感染した場合、治癒するとその子どもの体内には風疹の免疫が作られるので、「この子は風疹にはかからない」と言われてきました。ワクチンもこの仕組みを利用しています。

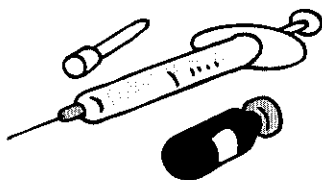
ワクチンは、病原体の毒性を弱めたり無毒化したりすることで、接種しても重症化することはほとんどなく、他人に感染することもありません。ただ、自然感染に比べて免疫力は弱いので、数回接種する必要があるワクチンもあります。

なお、風疹などに自然感染し免疫が作られた場合でも、終生免疫となるわけではないことが、最近の研究でわかってきました。

子どもの予防接種

乳幼児期には免疫が未発達なので、様々な感染症にかかることで免疫力をつけていきます。ただ感染症の中には後遺症を引き起こし

予防接種



たり死に至ったりする危険なものもあります。そのような感染症にかからないために、予防接種をすることは重要なことだといえます。

予防接種には、予防接種法によって接種する年齢が定められているものと、任意で接種するものがあります。スケジュールは、国立感染症研究所のホームページに公開されています。

ワクチンには大きく分けて、「生ワクチン」「不活化ワクチン」「トキシイド」の3つがあります。

「生ワクチン」は、生きたウイルスや細菌の毒性を弱めたもので、その病気にかかった場合と同じように体内に免疫を作ることができます。「不活化ワクチン」は、ウイルスや細菌を殺して毒性を完全になくし、免疫を作るのに必要な成分だけを取り出してワクチンにしたものです。「トキシイド」は、細菌の毒素だけを取り出して毒性をなくし、免疫を作る働きだけ残してワクチンにしたものです。風疹に対しては生ワクチン、日本脳炎には不活化ワクチ

ン、といったように、VPDによってどのワクチンが作られるかが決まっています。

海外渡航の際の予防接種

外国には、日本にはない感染症や日本よりも感染の危険性が高い感染症があります。そのため海外渡航者は、あらかじめ予防接種を受けておくことで、こういった感染症にかかるリスクを下げることができます。

また、アフリカや南米の熱帯地域では、入国する際や乗り継ぎ時に「予防接種証明書」の提示を求められる国があります。海外へ渡航する予定がある場合は、できるだけ出発の3ヶ月前から医療機関や検疫所で、接種するワクチンの種類と接種日程を相談したほうが良いでしょう。

インフルエンザ

例年、12月から3月はインフルエンザが流行する時期です。インフルエンザウイルスに感染すると38℃以上の発熱や筋肉痛などの症状が急に現れ、場合によっては肺炎を伴うなど重症化することがあります。

予防接種法では、65歳以上の方や60～64歳で一定の条件にあてはまる人は、定期のインフルエンザ予防接種の対象とされています。ワクチンを接種することで死亡の危険が5分の1に、入院の危険が3分の1から2分の1に減少するなど、高齢者に対するインフルエンザ予防接種の効果が期待できるとされています。

ヘアドネーション

小児がんを発症し治療を続けている子どもは、約16,000人いるといわれています。小児がんのような重い病気や不慮の事故などが原因で髪の毛を失った子どもたちが大勢います。このような子どもたちにはウィッグが必要ですが、安価なものは一目で「カツラ」とわかり、子どもにとっては装着するには精神的な負担が大きくなります。かといって、人毛を使用したオリジナルウィッグは30～80万円とかなり高額で、なおかつ子どもの成長に合わせてメンテナンスをする必要があります。治療費の負担も考えるとなかなか手が出ません。このような子どもたちに、無償でウィッグを提供する、「ヘアドネーション」というボランティア活動があります。

NPO法人 Japan Hair Donation & Charity (JHD&C)では、髪の毛の寄付を受け付けて集められた髪の毛を選別・加工し、希望者

に医療用ウィッグを提供しています。寄付をすることができる髪の毛の長さは、31cm以上で、引っ張ると切れてしまうほどのダメージがなければ、パーマやヘアカラーなどをしていても良いようです。また、年齢や性別・国籍などは問わないようで、くせ毛があっても受け付けてもらえます。ただ髪の毛は湿っているとカビや雑菌が繁殖する可能性があるため、髪の毛を寄付する際は完全に乾燥させてから送る必要があります。JHD&Cのホームページでは、ヘアドネーションの活動に賛同するヘアサロン(ドネーションサロン)を検索することができます。サロンによっては、カットした髪の毛の郵送を代行してもらえるところもあるようです。

逆にウィッグを希望する方は、JHD&Cにメールで申し込みをします。申し込みができる人は、18歳以下に限られています。希望者の負担はありませんが、医療用ウィッグなので劣化が早いなど、取り扱いには注意が必要です。

太陽フレア

太陽の表面の爆発が火災のように見える現象を「太陽フレア」といいます。昨年九月に発生し、話題になりました。

太陽の表面温度約六千度に対し、黒点の温度は約四千度と周りの温度より低くなっています。そのため黒点は黒く見えるのですが、その黒点のまわりに非常に明るい部分が時々あらわれます。

太陽フレアが発生すると、電磁波やX線、電子や陽子などの素粒子が放出されます。これらの物質が地球に到達すると、地球周辺の宇宙環境や地磁気などが乱れ、通信衛星や放送衛星などの人工衛星の障害、GPSや送電線への影響などが生じることがあります。

昨年九月には、国土地理院のGPSデータに、通常の誤差に加えて数メートルほど位置情報のズレが確認されました。

電気ストーブ火災

東京消防庁の報告によると、平成27年に起こったストーブ火災のうち、電気ストーブによるものが69%を占めていました。電気ストーブ火災の特徴としては、死者の70%を75歳以上の高齢者が占めていることや、一人暮らしで就寝中に亡くなっていることが挙げられます。また、着衣への着火や一酸化炭素中毒によって亡くなる方が多いようです。

実際に平成26年には、電気ストーブをつけたまま就寝し、掛け布団が電気ストーブに接触して出火する事故が発生しています。東京消防庁が行った実験では、電気ストーブの前面10cm以内では、ストーブに接していなくても燃えやすい物は発火することが確認されています。

まだまだ寒い時期が続きます。「火を使わないから電気ストーブは安全」ではありません。正しい使い方をして、火災を未然に防ぎたいものです。